

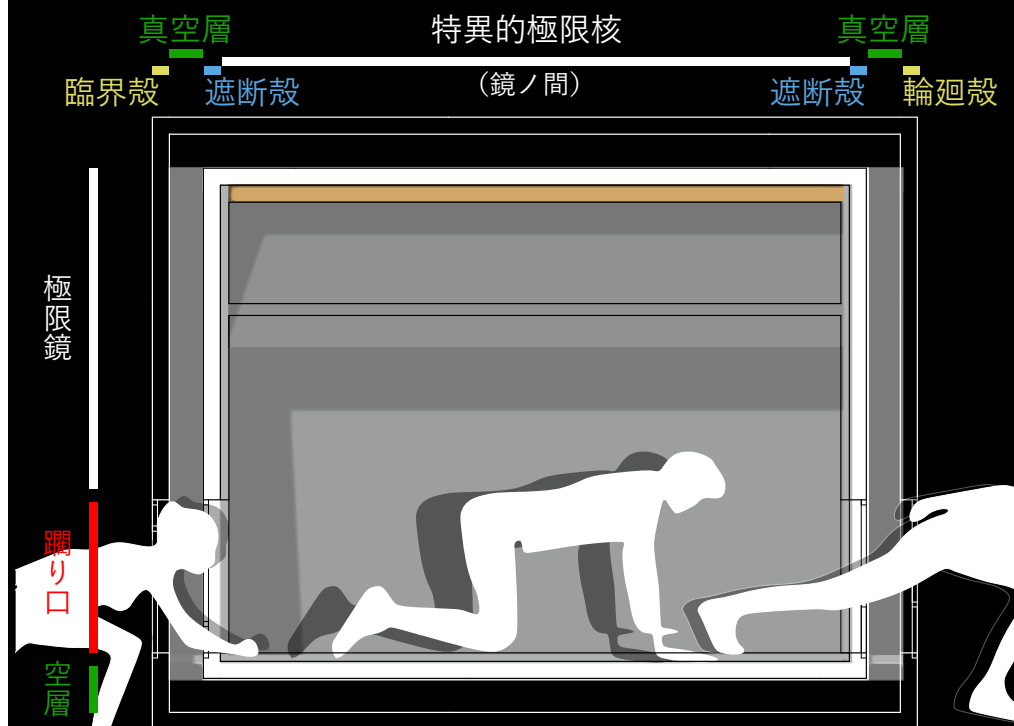
自極匣

ジゴクバコ

東京都六本木に現れる黒い匣。
小さな**躍り口**をくぐるには全てを脱ぎ捨てる、余計なものは持ち込まず。
内部には四体の自分が現れる。
外から遮断されたとき、光と音を失う。
自分を頼る。
自分に自分を問いかけ反芻させ、これを限界が来るまで繰り返す。
極致に達した時、外へと飛び出す。

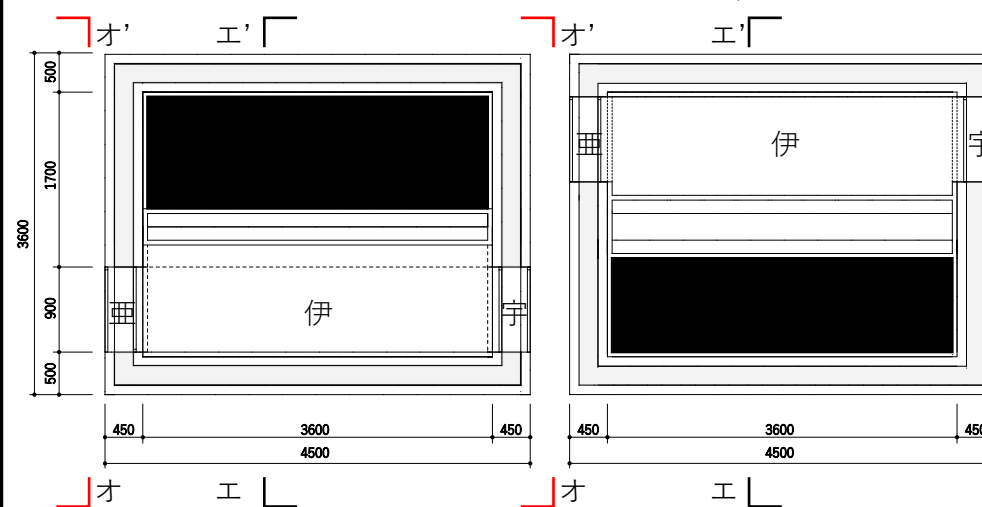
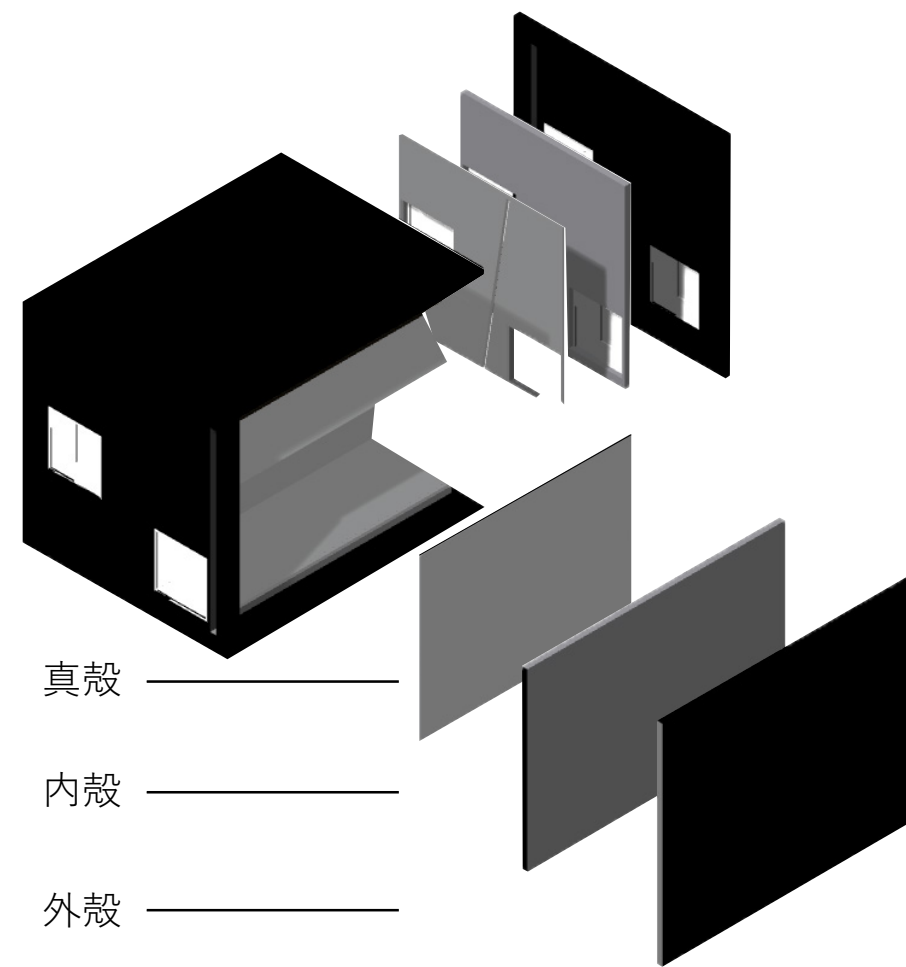
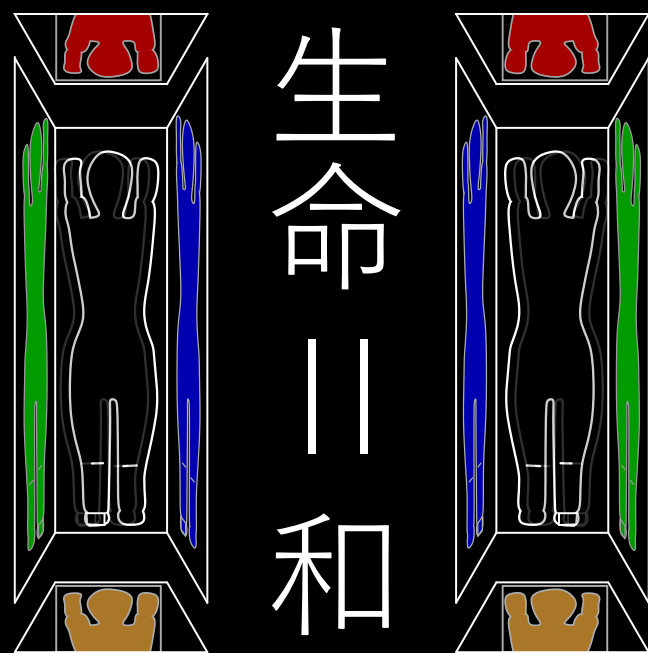
躍り口と結界

茶室の**躍り口**、それは全てを脱ぎ捨て対等の立場にするためのもの。
ここでは、今までの自分を捨て、見つめ直す場へと導く**躍り口**である。
結界と**躍り口**を結ぶことで、外界と内界を結び付ける。



四界

躍り口を超えると、鏡ノ間に入り、四つの世界と対面する。
四体の自分と対話を行う。
その根源には生命への問いかけがある。



壹天層

貳天層

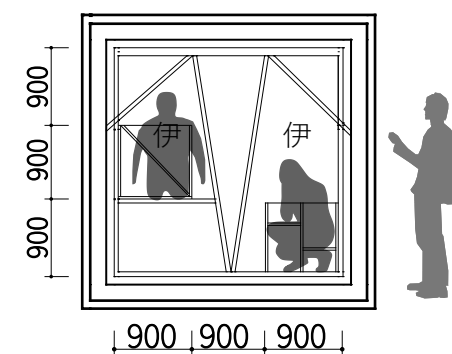
垂 真空層

伊 特異的極限核 (鏡ノ間)

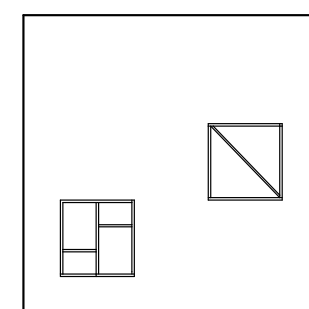
宇 輪廻殻

0 1800[mm]
900

平面、断面、立面計画 1/100



エ - エ' 断面



オ - オ' 断面

ナイングリッド

9 は一つの終焉を示し、新たな生誕を意味する、匣の寸法は9で終わる